

研究協力をお願い

藤が丘リハビリテーション病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

回復期病棟での栄養サポートチームによる栄養療法と SGLT2 阻害薬との関係性についての分析

1. 研究の対象および研究対象期間

2023年4月1日から2024年1月10日に昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の回復期病棟に入棟された患者さん

2. 研究目的・方法

回復期病棟のある栄養サポートチームでは、必要エネルギー量と摂取エネルギー量の差が250kcal以上マイナスとなる患者さんを体重減少のリスクにある低栄養患者と定義しアラートが掛かるようなエネルギー出納の元に患者さんの支援をしています。SGLT2 阻害薬を服用している場合には、肝臓での糖新生が亢進しており、適切に食事から蛋白質やアミノ酸が供給されない場合には、上述のように骨格筋からの糖原性アミノ酸供給が増加し、サルコペニアが進行することが考えられ、十分な注意が必要であるとされています。上記のように SGLT2 阻害薬の有無が従来の低栄養患者に対する栄養療法に影響があるかを診療録情報を用いて明らかにすることを目的とします。また、要因を分析することで SGLT2 阻害薬を有している患者の栄養療法の改善、低栄養の改善の一助になることが考えられます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年4月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間、転帰、入院時入院形態)、理学・作業・言語療法実施状況(病棟リハビリ開始日、センターリハビリ開始日、病棟リハビリ参加回数、センターリハビリ参加回数)、薬剤の内服数、認知機能の程度、悪液質、回復期病棟実績指数、リハビリ実施単位数、腹部症状の有無、嚥下障害の程度糖尿病の有無、HbA1c、随時血糖値、SGLT2 阻害薬の有無

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6．研究組織

研究責任者：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション室 井上 真聡

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター

氏名：井上真聡

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1 電話番号：045-974-2221